

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								2.6
1 音環境				2.6	0.15	2.1	1.00	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				2.1	0.40	1.9	0.40	
1 開口部遮音性能				1.0	0.39	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能		宿泊部:遮音性能 = TLD-52の乾式遮音壁W75を採用		3.0	0.56	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.03	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				1.0	0.03	1.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.1	0.35	2.2	1.00	2.1
2.1 室温制御				2.5	0.50	3.4	0.50	
1 室温				3.0	0.39	3.0	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		外壁:U値 = 0.913、窓:SC = 0.58、U値 = 4.5		4.0	0.26	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				1.0	0.34	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				2.4	0.25	2.8	1.00	2.4
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		宿泊部:昼光率 = 4.1%		3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				1.0	1.00	3.0	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F の建築材料をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.48	3.0	0.33	
2 自然換気性能		学校:有効開口面積2.87 > 1/15 病室:有効開口面積1.18 > 1/10		4.0	0.05	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.48	1.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.8	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.07	-	-	
2 喫煙の制御		敷地内全面禁煙のため、建物及び敷地内には喫煙所は設置しない		5.0	0.93	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				2.9	0.40	3.2	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.8	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		宿泊部:天井高 = 2.5m		1.0	0.07	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3 内装計画				3.0	0.93	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		居室:床塩ビシート2、内壁ビニルクロス(PBt12.5+9.5)、天井ビニルクロス(PBt9.5)		2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VLP(B)、汚水排水及び雑排水:VP(B)、Eは不使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.1	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備を設置、地下浸水防止用排水ポンプを設置	3.9	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	3.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率：共用部 = 0.26、住居部 = 0.25	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		道路からの圧迫感を与えないようセットバックして建物の配置、既存の樹木を保存している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制		BPI=0.763 低減率42.4%	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.4	0.20	-	-	3.4
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.9	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電システム	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率空調設備、LED照明設備、BEI=非住宅0.94、ERR換算値11.5%	3.6	0.30	-	-	3.6
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	3.6		-	-	
		集合住宅の評価			-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.63	-	-	3.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	再生木質ボード類の木繊維メント板を壁、床材に使用	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	パーティクルボードを家具等、磁器質タイルを外壁、床、ボードを天井材に使用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法を採用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	A種断熱材採用 ODP=0及びGWP100年値1	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 = 95%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.69	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.03	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.29	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	